

## 第4回酒田市総合計画審議会総務部会会議録

日 時 平成19年5月15日(火) 午後1時30分～午後3時15分

会 場 酒田市役所 第3委員会室

### ◎出席者

#### ・部会長

檜山 實

#### ・委員

青葉 礼次 池田 幸雄 山中 俊 小林 隆逸 富田ユリ子

柴田 俊彌 和田 明子

#### ・欠席委員

池田 正昭 星川 功

#### ・事務局職員

和田 邦雄 松本 恭博 三柏 憲生 後藤 吉史 佐藤 富雄 加藤 哲夫

齋藤 研一 阿部 雅治 菊池 太 鈴木 繁敬 池田 保 新館 篤

齋藤 啓一 櫻田 常夫 後藤 重明 阿部 勉 菊池 裕基 熊谷 智

大谷 謙治 前田 茂男

### 協議日程

#### 部会長あいさつ

#### 1 開 会

#### 2 協 議

(1) 酒田市総合計画第1次原案(施策の大綱)について

(2) 酒田市総合計画第1次原案(重点プロジェクト)について

#### 3 その他

#### 4 閉 会

---

## 部会長あいさつ ・ 1. 開 会

○事務局（後藤重明） 本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。  
それでは部会長より開会をお願いいたします。

○会長（檜山實） 本日は、お忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。  
総務部会は相当幅の広い分野ではありますが、これまでに各部会や意見交換会、50人会でも議論され、おおよそのまとめが出てきたのではないのでしょうか。前回、公民館とコミセンのあり方や公益文科大学のある宮野浦地域について議論がなされました。より良い会議となるように、みなさんのご協力をお願いいたします。

それでは、只今から第3回酒田市総合計画審議会総務部会を開会いたします。本日は、2名の欠席です。定足数に達しておりますので、直ちに会議を開催したいと思います。

---

## 2. 協 議

○会長（檜山實） はじめに、協議事項の（1）酒田市総合計画第1次原案の「施策の大綱」に関して総務部会に関係する事項に関して事務局より説明をお願いいたします。

○企画調整課長（阿部雅治） （資料説明、省略）

○会長（檜山實） 只今事務局より説明いただきましたが、第1次原案の施策の大綱について、みなさんから率直なご意見やご質問をお出しただければと思います。

○委員（和田明子） 施策の大綱に示された事務事業と毎年の予算とは、どんな関係になっているのでしょうか。

○企画調整課長（阿部雅治） 酒田市の場合、単年度計画と実施計画ということで3か年計画とがございます。総合計画に掲載があるかないかは査定の中で重要な要素となります。掲載のないものについても緊急を要する事業については位置付けていきますが、基本的には掲載のあるものを最優先とします。

○委員（和田明子） 総合計画が絵に描いた餅にならないように、毎年の予算とはっきり結びつけた方がよいのではないかと思います。

○会長（檜山實） ご意見ですから事務局としてよろしくをお願いいたします。。

○委員（山中俊） 基本構想を10年間のスパンに収めることが果たしてよいものかと思いません。総合計画と実施計画とを関連して考えた場合、そぐわないような感じがします。

- 企画調整課長（阿部雅治） 10年計画である総合計画については、時代の流れなども踏まえ、5年で見直しを行います。3年後ぐらいには見直し作業に入っていきたいと思っています。実施計画は、基本的に総合計画に記載のある事項について、1年毎のより具体的な計画を示すもので、総合計画と整合するものです。
- 委員（山中俊） 基本構想と基本計画の関係は、基本構想＝基本計画という考え方でよろしいですか。
- 企画調整課長（阿部雅治） 基本構想があつて基本構想があるという一連の流れから、今回から、それぞれを分けないでお示しさせていただいております。基本構想に基本計画を含めて5年の見直し、10年計画としております。4ページの図は、敢えてわかりやすくするために便宜上両者を分けて図式化したものです。
- 委員（山中俊） 基本構想＝基本計画という見方で総合計画をとらえていかなければならないとまとめてよろしいでしょうか。
- 会長（檜山實） 他にございませんか。
- 委員（和田明子） 全国的に見ても総合計画は作っただけで終わってしまうという批判がありますので、そうならないようにいろいろお聞きしております。68ページに「達成度を毎年確認する」とありますが、その具体的な手法をお聞きしたいと思います。
- 企画調整課長（阿部雅治） 総合計画の中で達成度を毎年確認するというのは、今回初の試みとして意気込みを示したものです。確認の手法には、いろいろな手法がありますが、重点プロジェクトの目標数値を使った評価方法、財政課で実施している予算に対する評価方法なども含めて、ご提言をいただきながら工夫していきたいと思ひます。
- 委員（和田明子） 総合計画は、財政課で行っている事業評価とは違って、市民の実感としてわかりやすいものにする必要があると思ひます。例えば、男女共同参画社会が大きく進んでいることが実感できるものとしてどういうものがあるか考える必要があると思ひます。
- 会長（檜山實） 他にございませんでしょうか。
- 委員（小林隆逸） 合併して2年が経過し、自治会の再編が進捗しなければならない時期にきています。総合計画には明文化されていませんが、特に市街地コミュニティ組織と公民館組織とを暫時、コミュニティ組織に一本化する方向で改革改編が進むだろうと思ひます。公民館主事は公民館活動をなすポイントとなっておりますし、同時に地域コミュニティについてもプロが事務的にサポートしています。これを将来的に民間ボランティアで運営することは難しいと思ひます。意外に早く公民館の廃止とコミュニティの一本化が進捗すると思ひま

すが、事務体系の整理には具体的説明がなされていない点もあり、手拔かりがあるように思います。よく説明されていないのではないかと思います。

○まちづくり推進課長（菊池太） コミュニティ組織は現在教育委員会が所管課となっておりますが、平成21年度よりまちづくり推進課に移行する方向でございます。旧酒田市には市街地のコミュニティ振興会と公民館地区のコミュニティ振興会とがあり、市街地については自主独立をしながらコミュニティを運営しています。公民館地区については、これまで公民館とコミュニティセンターとが2枚看板で進められてきましたが、平成21年度に職員を引き揚げることは、集中改革プランの中にも示された方向性です。コミュニティ振興会については、これまで事業費の2分の1を市が支援する形態を採ってまいりました。現在、具体的支援策については、地域コミュニティと行政の協働を含めた形で検討を進めており、今年の秋には地域の皆さんにご提案できると思います。

○委員（小林隆逸） 合併直後の改革ということもあって、これまで馴染んできたことの激変の状況は避けるべきだろうと思います。その辺を斟酌して検討されるべきだと思います。

○まちづくり推進課長（菊池太） 公民館とコミュニティの一体化ということは、合併を機にというよりも、以前から旧酒田市の検討事項として挙げられてきた課題です。この間、松山地区の山寺振興会が発足したところですが、3町地区でもご意見をいただきながら協議し、組織づくりを進めていきたいと思っております。

○会長（檜山實） 他にございませんか。ないようでしたら、今回の事項についてはご了解いただいたということで、次の事項に進ませていただきたいと思います。事務局より重点プロジェクトについて説明願います。

○企画調整課長（阿部雅治） 重点プロジェクトの数値目標については、企画調整課と主管課とで内容を詰めている状況です。最終的には精査された形で出されますが、今回はあくまで、委員のみなさんからご意見をいただくための資料、ということでご確認をおねがいたします。（資料説明、省略）

○会長（檜山實） 只今事務局より説明がありましたが、重点プロジェクトについては、所管の「地域元気プロジェクト」と「重点プロジェクトの全般的な事項」を一括して、ご意見、ご質問を受けたいと思います。

○会長（檜山實） 去年、災害弱者である高齢者への対応を議論した経緯がありますが、その後、体制が整っていない感じを受けています。災害は必ず来るという前提で対応しなければなりません。現在、自主防災組織率は60～70%です。これを90～100%まで高め、平

行して訓練を実施していかないとだめだと思います。

○危機管理官（斎藤研一）昨年度作成した市の防災計画の中でも、災害弱者への対応について紙面を多く割いております。個人情報との兼ね合いが話題となっておりますが、福祉部門などとも十分な連携を図りながら、今年度マニュアルを作成していきたいと思います。自主防災組織については、これまで協議会とも十分に連携しながら進めてまいりました。既に組織率は、旧3町を合わせて79.1%、旧酒田市では70.9%となっております。したがって、引き続き自治会連合会・自主防災協議会のみなさんからもご協力をいただきながら、5年後に100%という目標を掲げて進めてまいりたいと思っております。重点プロジェクトの中に個別具体的な表現の記載はありませんが「自主防災組織に対する協力、支援」の中に訓練の内容を盛り込んだ形となっております。併せて「自主防災リーダーの育成」の中では個人の育成も盛り込んでいます。先進地事例を参考にしながら、実動訓練と図動訓練の両面から総合的な自主防災体制の育成に努めて参りたいと思います。

○会長（檜山實）一人でも多くの人命を助けていくという体制をぜひ一つやっていただきたいと思います。

○消防組合（櫻田 常夫） 補足ですが、旧酒田市では、平成11年度まで、グラウンドなどに人を集めた「集合型訓練」を実施していましたが、阪神・淡路大震災の経験から、平成12年度の本楯地区から実際の状況に合わせた「八災対応型訓練」を導入しています。この訓練は、住民が自分の家にあるものを利用して人命を救助するという訓練で、全国的にも酒田がいち早く取り入れ、現在では全国的に広まっています。災害時に自衛隊等の公的防災関係機関が行う救助は、全体のわずか10%にも満たない状況です。実際には隣近所の救助や手当てが極めて重要であり、多くの事例が出されています。また、地域の危険箇所や災害時に活躍できる人を自治会ごとに点検し、家並み地図に載せていくほか、地域の商店と協定して災害時に水などを利用させてもらえるような活動を行っています。さらに、災害が発生してからの生活を体験してもらおうと、宿泊体験訓も実施しています。このように、酒田市の防災訓練は3点セットで行ってきました。今後は、地域と協力しながら、地域のリーダー育成にも取り組んでいきたいと思っております。

○会長（檜山實） 災害時に助けられた人の85%は15分以内で、そのうち95%は隣近所の人たちの助けによるといわれています。自助・共助・公助ということがいわれますが、災害の被害を最小限に抑えるためには、まずもって自助・共助が大切です。自主防災組織と自治会連合会とが協力してやっていきたいと思っております。

他に何かございませんでしょうか。

○委員（和田明子） 1点目は、重点プロジェクトは重点的かつ横断的に取り組む特別事項ということですので、52ページにあるような「市民活動支援体制の充実」、「男女共同参画社会の実現」の具体的事務事業の概要については、これだけでは何をやるのか見えないのでもっと詳しく記載したほうがよいと思います。

また2点目として、重点プロジェクトの指標は検討中だということですが、例えば53ページの部分では、男女共同参画であれば酒田市役所や市内事業所に占めるの女性管理職の割合などを指標として考えてもらいたい。指標は、行政が持っているものだけでなく、もっといろいろなところで出されているものを使ってもいいと思います。市民満足度調査を実施する方向とのことですが、ぜひ重点プロジェクトにあがっているものについては、市民満足度調査を実施してもらいたい。男女共同参画がうまくいっている人の割合が高くなれば、その評価になると思われるので検討してもらいたい。

○企画調整課長（阿部雅治） この件については、次回まで検討させていただくということでよろしく願いいたします。

○会長（檜山實） 他にございませんか。総合計画施策の大綱と重点プロジェクトについて、全体的なご意見がありましたらお願いしたいと思います。

○委員（山中俊） 基本構想・基本計画は、現状と課題を参考にしながら出来上がったという理解でよろしいでしょうか。酒田市の歴史を誰が、どのように伝承し、伝えていくのかということが不足しているように感じます。1740年、天保年間に起きた三方所替事件で、農家の人と本間家との間に取り交わされたことなど過去の大きな歴史が、総合計画の中にほとんど見当たりません。また、過去のことが語られていません。歴史を語れる人が少なくなった今、現状の課題に対しての対応だけでなく、歴史的視点から地域住民の「心」を後生に伝えていくという部分をぜひご検討いただきたいと思います。

○企画調整課長（阿部雅治） 旧三町も含め、酒田市の歴史については、文化部門や教育部門、市史編さんなどでそれぞれ冊子にまとめたものもございしますので、総合計画への掲載については検討させていただきたいと思います。また、施策の大綱は、現状と課題を踏まえ、10年後を見据えてまとめたものです。施策の大綱の中の施策の中に、若干、現状と課題についても記載しています。

○会長（檜山實） ありがとうございます。他に何かございませんか。ないようでしたら協議はこの辺で終わりたいと思います。

---

### 3. その他

○会長（檜山實） 皆さんから何かありませんでしょうか。なければ事務局でありますか。

○企画調整課長（阿部雅治） （今後のスケジュール等について、省略）

○会長（檜山實） これで第4回総務部会を終了させていただきます。ありがとうございました。

閉会 午後 3時00分